



みやき町 フットパス ～寒水川中流域編～

みやき町 フットパスに ついて

「フットパス (footpath)」とは、魅力的な風景を歩いて楽しむための小路のことであり、イギリス発祥の散策文化です。「みやき町フットパス～寒水川上流域編～」(2019年)に引続き、この中流域編は東京農業大学の学生や地域の市民団体の皆さんの協力を得て制作されました。一方「みやき町景観計画」が2020年に策定されましたが、それに関連して町内の多彩な景観に人々がアクセスし、景観への理解や認識を深め、多様な利活用を促すことを目的としています。

今回のマップ制作は従来の観光案内マップとは趣向を変えて、利用者の皆さんが地図を見て土地利用など現地の景観が

イメージでき、またご自身で新たな魅力の発見やお気に入りのルートを選択するなど、より深い景観との関わりができるよう、やや詳しい地図情報を表示しました。

- ① 道から外れ、田畑や樹林、私有地などに立ち入らないようにしましょう。
- ② ゴミは各自で持ち帰りましょう。
- ③ 草花を勝手に採取するのはやめましょう。

制作協力
 みやき町観光協会・東京農業大学
 佐賀県・中原の豊かな自然を守る会
 成富兵庫茂安公保存会・みやき歩こう会
 NPO法人 山田の風・(株) ゼンリン

問い合わせ先 みやき町観光協会 TEL:0942-96-4208

山地
 台地・丘陵
 低地



基盤地図情報数値標高データより



台地上のソバ畑(春時き5月下旬・秋時き9月下旬)

寒水川堤防のハゼ並木(11月下旬)

寒水川中流域の風景

みやき町は北側から山地、台地・丘陵地、低地の3つの地形区分から構成されますが、この中流域の大半は「台地・丘陵地」に位置しています。

北側の脊振山地から流下する寒水川、山之内川、通瀬川などが台地や丘陵地を浸食(開析)し、川沿いの谷間(谷底平野)には水田が広がっています。やや乾燥した台地上には畑地や住宅地が広がり、ハゼノキ畑も所々に残っています。台地と低地の間の河岸段丘には樹林や竹林が連なって、河川とともに景観の骨格を形成しています。

東部の白石神社から千栗神社にかけての地域は白雲母片を含む風化花崗類からなる起伏に富んだ丘陵地で、ゴルフ場が多くを占めていますが、樹林に囲まれた溜め池など自然豊かな景観が広がっています。

東西に通る県道22号線を境にして、それより南側は低地(沖積平野)となり筑後川まで続く広大な水田地帯となっています。

北側の旧長崎街道や長崎本線沿線の歴史的遺産、東部の白石神社(白石焼の里)や千栗神社一帯、それに県道22号線沿線の集落などが、本地区の景観的特徴といえるでしょう。



町並みと風情ある小路

旧長崎街道中原宿、千栗神社参道、東尾集落～西尾集落などに昔ながらの町並みや風情ある小路が残されています。

寒水川の親水護岸

長崎街道六の坪橋付近

三養基新四国八十八箇所霊場

大正時代後半に四国八十八箇所巡り(お遍路)の全国的なブームが起こり、コンパクトにまとめた八十八箇所(写し霊場)が各地に設けられました。みやき町(旧3村)でも三養基新四国八十八箇所が旧中原村の有志によって設けられ、お彼岸(春分、秋分の日)を中心にお遍路が行われました。また、巡礼者をもてなす文化もありました。町内全域に点在する観音堂など(一部は上峰町や鳥栖市域にまたがる)を中心に札所が設置されていますが、一部個人住宅内のお堂などを含むので注意が必要です。

43 番札所
 地蔵町地蔵尊

52 番札所
 板部十三仏観音堂

利用拠点施設

フットパスの利用においては、拠点施設まで公共交通機関や車でアクセスし、そこから徒歩で周回するのが一般的です。但し、公共施設や駐車場は夕方にはクローズするので注意が必要です。

●メディカルコミュニティセンター

2021年6月従来のB&C海洋センタープールに接する形で市村記念メディカルコミュニティセンターが開設されました。町民の健康増進の中心施設として位置づけられ、健康づくりに関する多くの施設や店舗が充実しています。駐車場も広く、隣接する千栗土居公園やハス園と併せて、フットパス利用の拠点として重要な施設といえます。

メディカルコミュニティセンター

東西に延びる千栗八幡宮の参道

●白石焼の里

白石焼は白石鍋島家が伊万里より陶工を呼び寄せ、この地に御用窯を開業させたのが始まりです。現在も白石神社参道に並行する小路を中心に4軒の窯元があり、せせらぎ沿いにトンバイ堀も残る風情ある景観が広がっています。白石神社駐車場が利用でき、付近にはトイレも設置されています。

白石焼の里

走破堂跡地の小路

●風の館

JR長崎本線中原駅から徒歩10分ほどの所に「風の館」があります。内部は展示施設となっていて、町民の文化活動の発表の場となっています。周辺に町のコミュニティ施設が集積しており駐車場も充実しています。近くには明治24年の旧九州鉄道開通に伴って寒水川に設けられたJR長崎本線の「中原五連橋」もみられます。

風の館

中原五連橋

●みやき町庁舎(防災センター)

東尾地区～西尾地区のウォーキング拠点として利用できます。

みやき町庁舎

みやき町庁舎付近からの夕景

成富兵庫茂安公と白石鍋島家にちなむ歴史遺産



千栗土居公園

千栗土居公園南側の蓮池

鍋島藩の土木技術者として活躍した成富兵庫茂安公による遺産は、「お茶屋の堤」「石貝堤」など旧北茂安町内に多くが残されています。なかでも総延長12kmに及ぶ「千栗土居」は最大の遺産で、その一部が「千栗土居公園」として整備されています。隣接するハス園には古代ハス(二千年ハス)も植えられています。



白石神社奉納流鏝馬

白石神社参道階段

白石神社は、鍋島直弘を祀るため建立されたもので、後に成富兵庫茂安公、鍋島直嵩を合祀しています。本殿は夕日の絶景スポットとして知られており、幻想的な光景が見られます。白石神社参道下を流れる大刀洗川(通瀬川)を堰き止めて造られた溜め池が「お茶屋の堤」で水鳥の観察スポットとしても知られています。さらに川沿いに茂安通りを遡ると白石が路という白石鍋島家の家臣団の居住地があった地区に至ります。



千栗八幡宮お粥堂と大クス

肥前鳥居と石段

御獄神社の榎の木



中津隈宝満神社の肥前鳥居

西部の台地上に位置する中津隈宝満神社は、大宰府宝満山麓の竈門神社の神霊を祀ったもので、入口には肥前鳥居、境内には肥前狛犬や前方後円墳、付近には池に囲まれた蔵島社(弁財天を祀る)などがあります。